

菅谷まちづくり

広報誌 第19号 令和2年10月15日発行

発行者 菅谷地区まちづくり委員会 委員長 平野 道代
企画編集 菅谷地区まちづくり委員会総務部
〒311-0105 那珂市菅谷2378-1 (菅谷地区交流センター)
☎029-295-7175 / Fax029-229-0832

No. 19

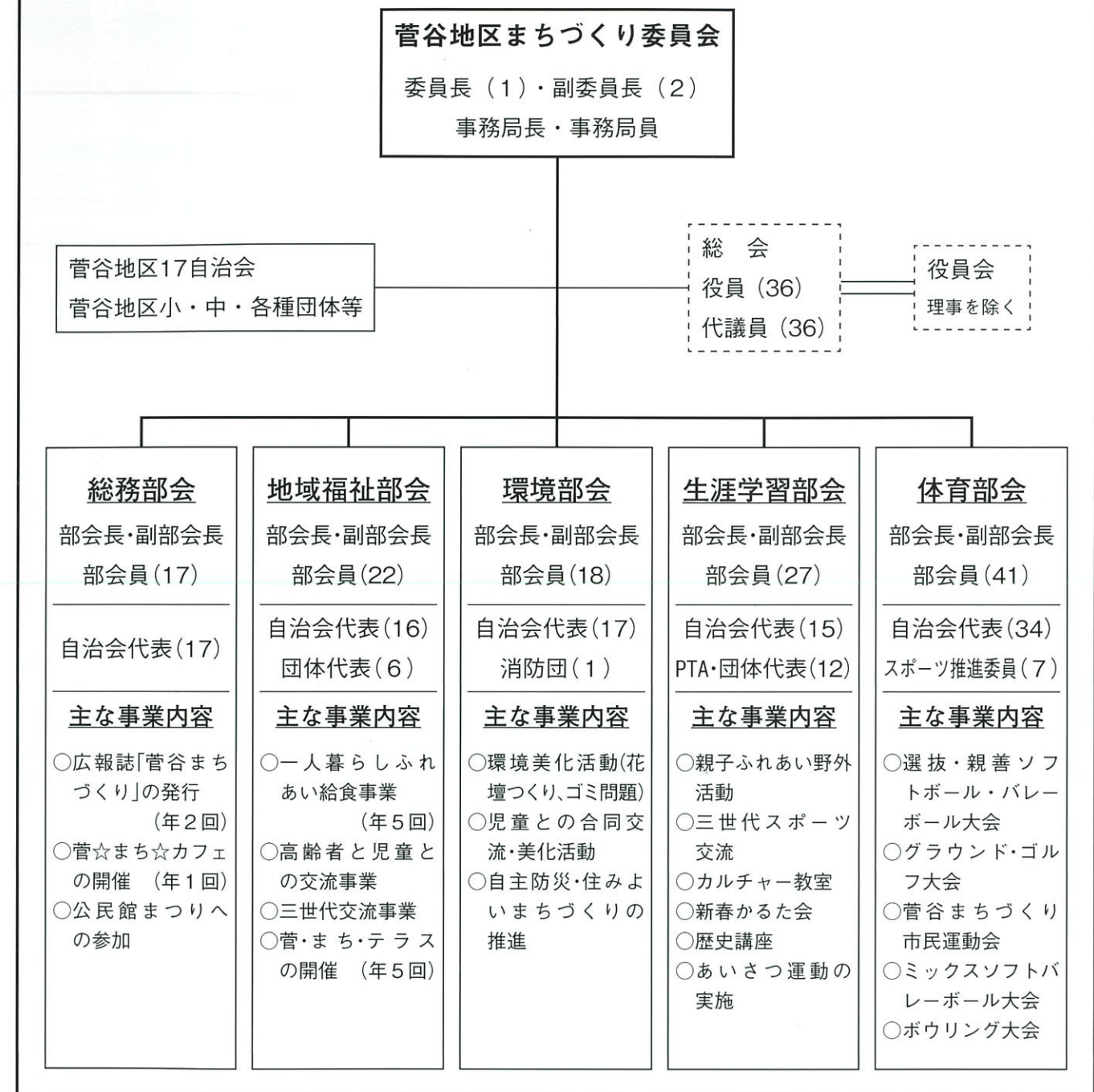


地域の花いっぱいを目指して行われている花壇づくりコンクール。
昨年は、那珂市の推薦を受け、茨城県中央審査で、一の関西フラワーロードが茨城新聞社長賞、鷺内フラワーロードが管理委員会が茨城県花き園芸協会長賞に輝くなど、優秀な成績を収めました。
しかし、令和2年度の花壇づくりコンクールは、コロナ感染拡大防止対策のため、菅谷地区まちづくり委員会の花壇審査は中止になりました。それでも地域での花壇づくりにご努力された上記写真の4団体様には例年通り助成金を交付し、植栽の一端を負担して労をねぎらいました。各自自治会の地域性や特徴に工夫を凝らして、花の種類や花壇全体の美しさを競っています。
豊かな自然と地域づくりに、四季折々の花が咲き、多くの人が楽しみな散策出来る様に、各自自治会で植栽をやってみてはいかがですか？次年度は、多くの自治会が「環境美化コンクール」に参加し、「花いっぱいのもちづくり」にしましょう。

環境部会長 五十嵐 順次

心を込めて育てた 花と緑の環境美化活動

菅谷地区まちづくり委員会組織図



自治会加入について

菅谷地区内には、現在17地区の自治会が設立され、会員相互の理解のもと、共助の精神により各種事業が実施され、安心・安全な地域づくりに取り組んでいます。
しかし、高齢化や少子化など地域としての課題も増加傾向にあり、加えて、菅谷地区内の自治会加入率も55・8% (令和2年4月1日現在) と減少傾向にあります。
公助からの支援もありますが、私たち一人ひとりが地域に関心を寄せ、行動することも大切ではないでしょうか。
各自自治会では、会長さんを中心に会員の加入促進に取り組んでおりますので、お気軽にご相談ください。

編集後記

各部会の事業活動を紹介するのが広報誌の主な役割ですが、上半期は、ほぼ全ての事業が中止となりました。しかし、委員長をはじめ事務局のアイデアで小学校の校長先生に初登場して頂いたり、簡単体操など、これまでとは、ひと味違う内容になったと思います。



温かい内に民生委員さんが届けます！



手製の掛け紙でお弁当をくります！

ふれあい給食は、約30名の給食ボランティアが年5回、ひとり暮らしの高齢者を元気づけるため、毎回170食のお弁当を、「ひだまり」の調理室で手作りし、希望者に提供する事業です。

しかし、今年度はコロナ禍で事業を自粛・中止せざるを得ず、部会員にとっては、ジリジリする毎日が続きました。こういう時こそ一歩立ち止り業務を見直すのも大切で、マンネリから抜け出すチャ

地域福祉部会 ふれあい給食 一歩振り返る勇気

地域福祉部会

ンスと捉え、新たな方法を探って行きたいと思っています。

そう言う訳で、今年の給食事業は、「コロナの3密」を避けるため、ボランティアによる手作りを断念。

第2回（7月）からは、市内の2業者にお弁当を発注して事業を継続することとしました。

メニューについては、これまで同様、季節感や、高齢者に優しい食材等をモットーに、業者に提示し、その協力を得ています。

こうしてできたお弁当は、民生委員・児童委員（約25名）が、担当する希望者に宅配するなど、その意気込みに変わりはありません。

地域福祉部会長 塚原 茂樹

代表自治会長・部会長会議

今年に入り新型コロナウイルスが瞬く間に全世界に感染拡大しました。未だ有効なワクチンも治療薬の開発もないのが実情です。

そういう状況下で「まちづくり委員会」の行事や活動も、安全安心を優先のもと、中止とか縮小を余儀なくされているところです。

最近大きな災害が頻発しております。自分の身近な所には起こって欲しくないという願望も正直なところではあります。

このコロナ禍には改めて予想外の「まさか」の出来事が突然起こり得ることを肝に銘じ、日々の生活を送りたいものです。

副委員長 野田 敏之

副委員長 寺門 喜勝

我がまちづくり委員会は、地域の方々に多彩な交流の場を提供し、そのふれあい活動を通じた地域社会づくりを進めています。

今回の新型コロナウイルスの問題下、各種事業の実施が取り止め、または規模縮小するなど余儀なくされています。

今後は、取り巻く環境が大きく変わっていくと言われていますが、私たちの事務事業に關しても、これがキャリアアップする機会であるとも受け止め、会員皆様の知恵の結集と行動をもとに、満足のいく推進が図れるよう頑張っております。

副委員長 野田 敏之

副委員長 寺門 喜勝

環境部会

紙ごみのリサイクル

私たちの町・那珂市では、ごみの再生利用（リサイクル）率が、他の市町村と比べて低いという統計があります。茨城県全体では、重量比で21・3％ですが、那珂市では、11・6％に留まっています。

私たち環境部会では、何とかこの問題を改善しようと、特に紙ごみの分別方法について考えております。

紙ごみは仕分けが難しいとか、あるいは面倒との理由から、段ボールや新聞以外は生ごみ（可燃ごみ）と一緒に袋に入れて出してしまおうというのが多いのではないのでしょうか。

環境部会では、この改善を図るため、紙類の仕分けをどのように行えば良いのかを記した小冊子を作成し、皆様に配布する計画を進めております。

この小冊子の作成につきまして、環境部会での検討や、県や市の方針を確認していますが、今年度中には、皆様のお手元に届くようにしていきたいと考えております。

環境部会副部会長 水野 廣

生涯学習部会

昨年の今頃、皆様は何をされていましたか？ 生涯学習部会では、無事に大満足で終えた夏休み親子ふれあい活動のアサヒビール茨城工場見学での敷地の広大さ、最新鋭の設備群やお楽しみの試飲会が忘れられず、来年はぜひキンビール取手工場を訪問しようと打ち合わせていました。

偶然にも県内に2大メーカーの工場があり、実際に施設を見学でき、担当スタッフさんとふれあい、各社自慢の製品の試飲が出来る。五感をフル活用して比較出来る。これこそが生涯学習の極みではないか。

私たちが、茨城県は魅力度ナンバーワンとの思いを強くした行事でしたが、今年に入り新型コロナウイルス感染拡大となり、全ての工場見学が中止となってしまいました。

このような状況の中、部会員さんから学校の授業の様にオンラインでのリモート講習会や講演会も一つの選択肢となるのではとの提案もありました。いずれにしても今は、一日も早いコロナ感染の終息を願うばかりです。

生涯学習部会長 唐田 勝弘

生涯学習部会長 唐田 勝弘

令和2年度菅谷地区まちづくり委員会総会は、3密を避けて 書面決議として実施しました！

10周年を迎えて

菅谷まちづくり委員会

委員長 平野 道代

那珂市まちづくり委員会制度に移行し、今年で早10年目を迎えました。

私自身、副委員長4年、委員長を6年と、この10年を皆様のご協力を賜りながら携わってこられましたこと、心から深く感謝申し上げます。

さて、今年も例年どおり、まちづくり活動が運営できると考えていた矢先、コロナ禍という波がじわじわと押し寄せ、舵取りを大きく変更しなくてはならなくなりました。

人と人、地域との繋がりを大切にしてきた私たちにとって、何が出来るかと部会長等と共に協議を重ね、今できることを行っていくと気持ちを一気にし、いつでも活動が再開できるような準備をしているところです。

このような時こそ、自治会を通じ地域力を高めていくことが大切と考えております。

今後とも皆様方のご高配を受け賜わり、まちづくりが更なる前進を遂げられるよう、尽力して参りたいと存じます。

コロナ禍の状況下の活動の制約にご理解いただくと共に、皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたします。



代表自治会長・部会長会議

コロナ禍に想う

副委員長 野田 敏之

今年に入り新型コロナウイルスが瞬く間に全世界に感染拡大しました。未だ有効なワクチンも治療薬の開発もないのが実情です。

そういう状況下で「まちづくり委員会」の行事や活動も、安全安心を優先のもと、中止とか縮小を余儀なくされているところです。

最近大きな災害が頻発しております。自分の身近な所には起こって欲しくないという願望も正直なところではあります。

このコロナ禍には改めて予想外の「まさか」の出来事が突然起こり得ることを肝に銘じ、日々の生活を送りたいものです。

キャリアアップの機会に

副委員長 寺門 喜勝

我がまちづくり委員会は、地域の方々に多彩な交流の場を提供し、そのふれあい活動を通じた地域社会づくりを進めています。

今回の新型コロナウイルスの問題下、各種事業の実施が取り止め、または規模縮小するなど余儀なくされています。

今後は、取り巻く環境が大きく変わっていくと言われていますが、私たちの事務事業に關しても、これがキャリアアップする機会であるとも受け止め、会員皆様の知恵の結集と行動をもとに、満足のいく推進が図れるよう頑張っております。

（新しい生活様式）：日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ☐ まめに手洗い・手指消毒
- ☐ 咳エチケット
- ☐ こまめに換気
- ☐ 身体的距離の確保
- ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

*出典：厚労省
「新しい生活様式の実施例」



外出控え 密集回避 密接回避 密閉回避 換気 咳エチケット 手洗い

体育部会

コロナを吹き飛ばせ

令和2年度は誰にも予想出来なかった事態から始まりました。世間のみならず、我が体育部会でも年度早々、選抜及び親善ソフトボール・バレーボール大会が中止を余儀なくされました。今後の行事が予定通り進められるのか、やるにしても例年通りできるのか、どのような対策を施さなければならぬのか、全く悩みは尽きないところです。

少しずつ日常を取り戻しつつある中で、真つ直ぐな道路の歩道をジョギングしたり、ウォーキングしたりしている方々を多く見掛けるようになりました。皆さん自粛疲れで否が応でも体を動かしたり、汗をかいたりしたくなっているのでしょうか。運動、スポーツ、体育というのは我々が暮らしていく上で大切なものなんだと改めて感じさせられる次第です。

小生も最近、テレビを見ながらダンベルを持って、軽い筋トレチックなことをやっております。わざわざ時間を取るようなこともなく、軽く汗もかけるので、なかなかです。

コロナ禍前の状況に戻るには、まだまだ時間が掛かるかもしれないけれど、気持ちと体だけは前向きに、来たるべきその時のために、みんなで今を精一杯がんばりましょう。

*最後に、NHK健康チャンネルに掲載されている「体の動きを良くする」体操（2017年8月30日放送の「ためしてガッテン」より）をご紹介します。

写真は寄居自治会・楽遊会のお友達に協力して頂きました。

くねくね体操



【ポイント】
身体が「くの字」になるようにイメージする。頭や腰の位置をしっかりと意識するのがポイント

足を肩幅に開き、なるべく頭を動かさずに、腰を左右にくねくねと振る様に動かす。

がにがに体操

小刻みにジャンプしながら、左右交互に足を上げて膝と肘をつける。



【ポイント】
力を入れて無理に足を上げようとせず、身体の弾みを利用して足を上げる。

最初、あまり足が上がりなければ、ひじの位置を下げて行ってもOK。無理なく出来るようになったら徐々にひじの位置を高くしていきます。

この二つの体操を1日1セット、5分から10分でOK。

なかなか外出しにくい時期ですが、ぜひ家の中で出来る健康ワザをおためし下さい。

*普段運動をしていない方や、お年寄りにとっては、転倒や関節を痛める可能性がありますので、体力に自身の無い方は絶対に無理をしないでください。

体育部長 友部 征和

菅谷地区内の教育施設へマスクを贈呈

菅谷地区まちづくり委員会では、この度の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次代を担う子ども達が安心して学校生活を送れる環境を支援することが子ども達や教育関係者・保護者の皆様への一助になればと思い、委員会5部会と菅谷地区自治会連絡協議会の合同事業として、地区内の保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校に使い捨てマスクを送ることにしました。7月3日（金）に平野委員長・平塚会長が各施設を訪問し、趣旨を伝えと共に寄贈致しました。

*各施設長からは、児童や生徒の感染防止のため様々な工夫をしているが、マスクは飛沫感染防止の必需品であり、この善意は大変ありがたいとお言葉を頂きました。



菅谷小学校での授与式

（補足）
・寄贈先…10ヵ所
・寄贈マスク…合計6,700枚

菅谷地区の皆さまへ

『すがやっ子の育成』

菅谷小学校

校長 沢畑 好朗様

本年度4月から菅谷小学校に赴任いたしました校長の沢畑です。

赴任して最初に感じたことは、菅谷小の子ども達がとても素直であるということ。あいさつをすれば、あいさつで、アドバイスをすれば、「ありがとうございます。」と返ってきます。この素直な子ども達は、大きく伸びる資質があると言っても過言ではありません。

この子ども達をさらに伸ばすために、学校では、理想とする児童の姿を「すがやっ子」と表し、以下の子の育成を目指します。

- ・すすんで意欲的に取り組む子
- ・目標に向かってがんばる子
- ・困難にも負けずやり抜く子
- ・素敵な「すがやっ子」の育成のために、教職員が丸となって、教育を更に充実させてまいります。
- ・ご理解とご協力をお願いいたします。



菅谷小：花いっぱい

菅谷西小学校

校長 猿田 智之様

本年度、菅谷西小では、「笑顔と感動にあふれた学校」をテーマに、全職員が子ども達に寄り添いながら教育活動を行っています。

本校の特色ある教育活動としては、教科担任制の実施、米作りをはじめとした地域と連携した体験活動の重視、那珂一中・五台小との小中一貫教育の推進等があげられます。また、防犯パトロール等地域の見守り活動の陰で、子ども達の安全が確保されています。

現在学校では、新型コロナウイルス感染症対策として、手洗い・マス



菅谷西小：全校集会での子ども達

菅谷東小学校

校長 會澤 範雄様

6月から学校が再開され、子ども達の元気な声が学校に戻ってきました。

さて、今年度より新学習指導要領が完全実施となりました。その中で今年度から新たに始まった学習内



菅谷東小：教室の子ども達

容として、三・四年生の外国語活動と五・六年生の外国語学習がありま。グローバルな時代となり、子ども達にとって外国語（英語）を学ぶことがとても大切になってきています。本校では、ALT（外国語指導助手）のステラ先生と、英語専科の松坂先生が指導に当たっています。本格的な発音に触れながら、楽しく学習を進めています。

さらに、プログラミング学習も始まりました。今年度中に、国の施策で一人一台のタブレット等が導入される予定です。私たち職員もしっかり研修をして、子ども達に情報モラルとプログラミングの良さを教えていきます。